



令和5年度の事業実績の状況について

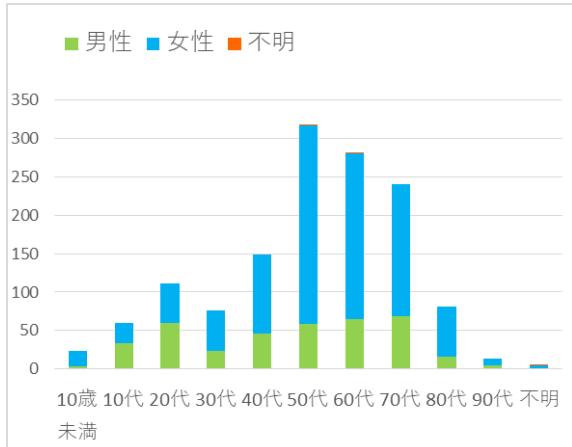
第2回委員会で報告済みの講演会、エイジの日記念講座およびイベント、いきいきポイント、出張ブース、出張講座、パネル展を除く実績は以下のとおりである。

1 エイジフレンドリーシティスタンプラリー

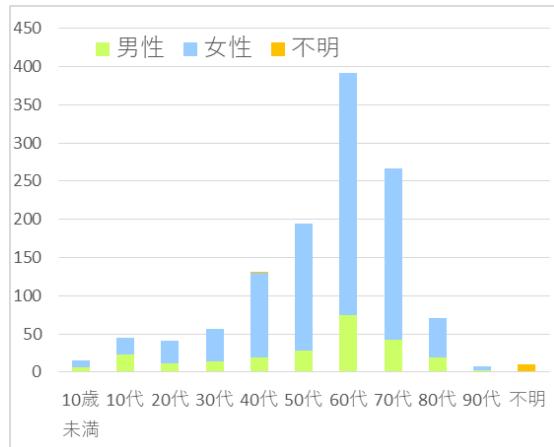
日 程	令和5年11月1日（水）～11月30日（木）
参 加	20事業者、124店舗（前年度は10事業者、110店舗）
応募者数	1,360名

（1）応募者内訳（年代別）

令和5年度



令和4年度



- ・最多年代は、4年度の60代が5年度は50代に移行し、20～30代も増加した。
- ・男女比は、男性の応募が各年代で増加し、4年度の総計は男性1:女性4だったが、5年度は男性1:女性2.6となった。

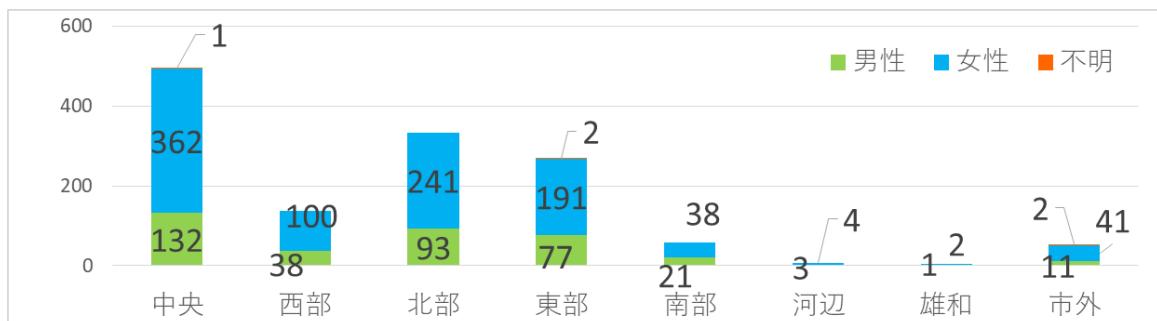
年代別・男女別応募者数

R5	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	計
男性	3	34	60	23	46	58	65	68	16	4	0	377
女性	20	26	51	53	103	259	216	173	65	9	5	980
不明	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
計	23	60	111	76	149	318	282	241	81	13	6	1,360

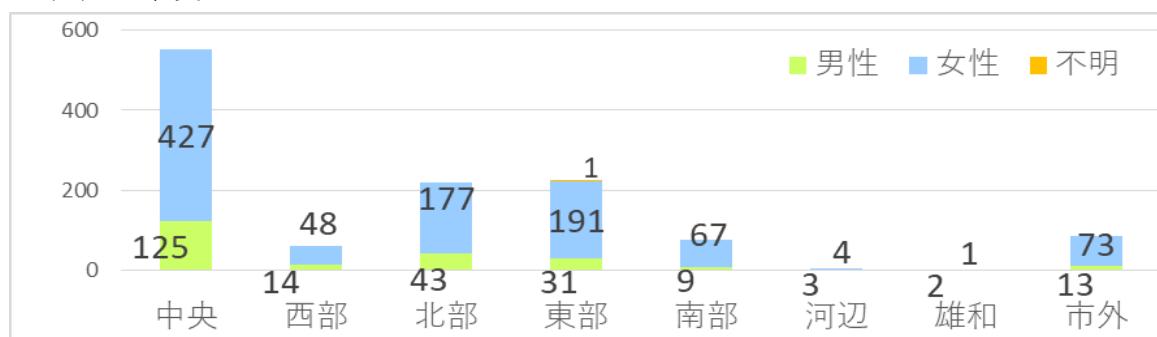
R4	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	計
男性	6	23	11	14	19	28	74	42	19	3	0	239
女性	9	22	30	42	111	166	318	225	50	0	0	973
不明	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	11	11
計	15	45	41	56	131	194	392	267	69	3	10	1,223

(2) 地区別応募者数

令和 5 年度



令和 4 年度



- 5 年度は中央地区以外に参加店舗が増えたため、実施地域が拡大した。
- 居住地の参加店舗数は、応募者数に影響がある。

(3) どのようにして知ったか（複数回答あり）

R5	広報	チラシ・ポスター	ホームページ	知人	テレビ番組	その他	無回答	計
男性	57	261	0	31	5	10	13	377
女性	152	659	6	76	4	40	43	980
不明		3						3
計	209	923	6	107	9	50	56	1,360

R4	広報	チラシ・ポスター	ホームページ	知人	テレビ番組	その他	無回答	計
男性	17	167	4	16	5	14	20	243
女性	95	632	9	80	32	51	71	970
不明		1						1
計	112	800	13	96	37	65	91	1,214

- 知るきっかけは主にチラシ・ポスターが一番多く、広報が増加している。
- 事業が 2 年目となり、店舗側が来店者へ積極的にチラシを渡すなど、店舗からの協力が増している。

(4) 効果と課題

- ・2年目は参加店舗とのやりとりが円滑になり、連携が深まった感がある。
- ・水害や物価高騰により、市民の購買が昨年度よりも活発ではないとの声を商店街から聞いた。事業は天候やさまざまな状況が影響するため予想外のことが多いが、できるだけ効果に結びつく方法を考慮する必要がある。
- ・事業の効果として、エイジフレンドリーシティの認知度向上だけでなく、取組の内容を知ってもらうため、次年度は参加店のイベント実施や出張ブース等の設置について店舗側へ声かけを行うこととした。
- ・市民が参加するよう、一層のPRの工夫が必要である。

2 ワークショップ

内容 高齢になっても自分らしく生きることを目標にこれまでの自分自身を振り返り、強みを生かして退職後等の活動を見つける。

テーマ 「セカンドステージを考えよう～新しい情熱の燃やし方～」
(令和4年度副題は、趣味を活動に変える)

(1) 参加者数

令和5年度計	27名	1回目	11月23日 (木・祝)	10:00～12:00
		2回目	12月26日 (火)	18:00～19:30
		3回目	2月24日 (土)	13:30～15:00
令和4年度計	57名	3回とも	平日夜間の実施	

(2) 効果と課題

- ・休日に開催したところ、平日夜は外出しないという80代女性の参加に繋がったが、参加者数は減少した。ターゲット層に合わせた日程が求められる。
- ・3回目はこれまでの参加者の交流機会とし、自らサークル活動を始めた1期生に体験談を話していただいたところ、「感動した」「活動の参考になった」などの感想があった。
- ・既に活動している方からいくつつかの手法が提案され、思いを共有する方の様々な経験を話し合う機会となった。
- ・踏み出すことはリスクを伴うため、なかなか実行に移せないという発言があり、後押しや見守りなど支援のしかたの線引きが難しい。

3 広報等

番組

- ・秋田市広報番組「こんにちは秋田市から」
8／12、17 みんなで考えよう「エイジフレンドリーシティ」
- 3／9、14 「高齢者にやさしい」を応援 エイジフレンドリーパートナーの取組
- ・CNA秋田ケーブルテレビ「しへなチャン」 8／24
- ・ABS放送CO-OP あきた提供「快けつ！のどかちゃん」 2／5、19

紙面

- ・民事協だより 5／9号 取組紹介
- ・魁新報社エイジフレンドリーシティの日特集 8／24 市長挨拶、イベント紹介
- ・時事通信社 厚生福祉 8／29号 コラム
- ・シルバー産業新聞 10／10号 本市取組紹介（毎月10日発行）
- ・秋田建設工業新聞 12／20 パートナー表彰、2／21 基本理念・目標の紹介

会議・講座

- ・東大まちづくり大学院zoomセミナー 取組紹介 5／16
- ・シドニー工科大学学生による研究報告への対応 6／8
- ・国立長寿センター主催 Independent Ageing 2023 取組紹介 10／13
- ・日本総研コンサルタントzoom 取組紹介 11／27
- ・英国スターリング大学研究者zoom 取組紹介 1／10
- ・商工会議所情報通信部会 取組紹介 10／17

視察

- ・11／2 熊本県人吉市、11／21 岩手県葛巻町、12／20 千葉大学近藤克則教授、3／5～6 日本女子大学黒岩亮子准教授 ※富士市、松江市は水害により中止

4 参加人数計

啓発事業の参加のべ人数は以下の通りであり、前年度比で119名増加した。

対象事業名	R5人数	R4人数
市民公開講座	107	150
記念講座	32	45
スタンプラリー	1,360	1,229
映画祭	909	991
いきいきエイジの日	350	200
エイジいきいきポイント	283	118
出張講座・出張ブース	205	395
ワークショップ	27	57
小学3年生副読本学習時の啓発チラシ等配布	2,181	2,113
パートナー事業者研修会	28	65
計	5,482	5,363



令和6年度の事業予定について

1 エイジフレンドリーシティ推進事業について

(1) 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画の進捗管理

令和6年度事業の実施、令和5年度事業およびエイジフレンドリー指標実績値のまとめ

(2) 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会等の開催

・年3回、推進委員会の開催（7月、10月、3月予定）

※うち7月は書面開催、10月はパートナー表彰選考を予定

・年2回、同庁内推進会議の開催（5月、1月予定）

(3) エイジフレンドリーワークショップ

「セカンドステージを考えよう」

2 エイジフレンドリーシティ普及啓発事業について

(1) エイジフレンドリーシティ講演会

日時 令和6年5月14日（火）13:30～15:00

場所 市役所5階正庁

演題 「ワンダフル・エイジング～人生後半を豊かに生きるために～」

講師 同志社女子大学 現代社会学部教授 日下菜穂子氏

(2) エイジの日プロモーション事業

・エイジの日記念講座の開催

8月24日（土）10:30～12:00 予定 秋田拠点センターアルヴェ2階多目的ホール

認知症サポーター養成講座

・エイジの日記念イベントの開催

8月24日（土）11:00～15:00 予定 秋田拠点センターアルヴェ1階きらめき広場

いきがい・健康・生活の3分野のブースほかパートナー事業者との協働で実施

・エイジフレンドリー映画祭

8月下旬～9月中旬の3日間（R5年度：年4回→R6年度：年3回）

・エイジいきいきポイント

9月1日（日）～10月31日（木）

・エイジフレンドリーシティスタンプラリー

11月1日（金）～11月30日（土）

・出張講座（通年）

・【新】パートナーコラボ出張講座

パートナー事業者と連携し、高齢者学級等で出張講座を実施予定

(3) 情報発信

- ・パネル展示

- コミセン、図書館、市役所市民ホール、パートナー事業者等で実施予定
- ・エイジフレンドリーシティ通信（令和7年3月発行予定）
- ・小学校副読本と合わせてPR紙を配布
市内小学3年生とその家族への啓発

3 エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業について

- (1) パートナーの拡充（通年）
- (2) エイジフレンドリーパートナー研修会・交流会等の開催
- (3) パートナー取組紹介の市広報番組制作
- (4) エイジフレンドリーパートナー表彰

〈令和6年度表彰概要〉

- ア 表彰対象：令和5年度の取組とし、これまで表彰した取組は、表彰対象から除く。
- イ 選出方法：取組状況報告から事務局が候補者を選出、行動計画推進委員会で選考する。
- ウ 表彰する対象

- (ア) 他のパートナーが行っていない、独創的な取組を行っている。
- (イ) 他のパートナーと類似しているが、特に工夫の見られる独自の取組がある。
- (ウ) エイジフレンドリーパートナーとしての活動、取組を通じて、秋田市のエイジフレンドリーシティの認知度の向上や推進に寄与している。

(エ) 選考基準

- ・アイデア度 取組に創意工夫があるか
- ・継続性・発展性 継続性や発展性のある取組となっているか
- ・模範度 取組が他のパートナーの模範となるか
- ・市民志向 地域との連携、地域に寄与する取組となっているか
- ・貢献度 エイジフレンドリーシティの実現に向けた貢献をしているか

(オ) 表彰式までのスケジュール（予定）

令和5年度		令和6年度											(令和7年)											
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
取組期間： 令和5年4月～ 令和6年3月		報告期間 4/1～4/30	●第1回推進委員会 ●エイジの日					●第2回推進委員会 (表彰選考)					●第3回 推進委員会											
		事務局による取組の精査、候補者選出											●令和6年度表彰式											
		●令和5年度取組報告提出																						

4 高齢者生活支援情報提供事業について

冊子「暮らしに役立つサービス」の内容を更新および発行（令和7年3月発行予定）